

独立検証声明書

飯野海運株式会社

保証業務の範囲

この独立検証声明書は、飯野海運株式会社に対して発行されたものである。

一般財団法人日本海事協会(以下「当会」という)は、飯野海運株式会社(本社所在地:東京都千代田区内幸町二丁目1番1号飯野ビルディング、以下「申請者」という)の委託を受けて、2024年度(2024年4月1日~2025年3月31日)の水関連データ(以下「算定報告書」という)の検証業務を委嘱された。算定報告書は取水(上水、再生水、雨水、井戸水)と消費量(下水道、減水量)のみを対象としている。

検証業務の範囲は、申請者が算定報告書に定義された方法による。

適用基準

- ① GRI303 水と廃水(2018)
- ② AA1000 保証基準 v3(2020年版)
- ③ 保証業務に関する国際基準 3000(改訂版)(ISAE 3000(改訂版))
- ④ 飯野海運株式会社 水関連データ算定マニュアル(Ver. 1.0)

水関連データの管理責任

申請者は、算定報告書を作成し、開示されたデータ及び情報に対する有効な内部統制を維持する責任を有する。また、当会の責任は、申請者との契約に基づき、算定報告書に関する検証業務を実施することである。最終的に算定報告書を承認するのは申請者である。算定報告書は引き続き申請者の責任の下にある。

検証手続

当会による検証は、取水と消費量について、水供給者からの請求書に基づきデータが算定報告書に適切に記載されていることについて、限定的保証を提供するために「ISAE 3000(改訂)」に従って実施された。

結論を得るために、検証業務は以下のようなサンプリング手法を用いて実施された。

- 申請者の本社への訪問
- 事業所の取水、消費量のデータ、情報管理、算定報告書作成に関する責任者へのインタビュー
- 取水、消費量のデータ・情報の管理プロセスのレビュー
- 算定報告書に記載された情報に関し、サイト訪問で得られた情報ソースと申請者集計結果との整合性の検証
- データ入力時の QA/QC 体制とダブルチェック体制の確認

申請者は、水関連データを算定するためのマニュアルを整備しており、データ及び関連情報を正確かつ効果的に取扱い、対象年度における水関連データの総排出量を適切に算出していることが認められた。

保証水準

この独立検証声明書で表明された検証意見の保証水準は、限定的保証水準とし、重要性の閾値は検証員による専門的判断に基づいている。

検証意見

当会による検証業務の結果、算定報告書が、適用される基準及び選択された定量化手法に準拠しておらず、重要な点において正しくないことを示す事実は認められなかった。尚、当会と申請者において利害相反は無く、検証は公正、公平に実施された。

2025 年 11 月 28 日

一般財団法人 日本海事協会
認証本部長

山口 欣弥

山口 欣弥

一般財団法人 日本海事協会
環境部 主任検証員

堂園 吉彦

堂園 吉彦

2024 年度 取水量の要約

検証対象 取水量		(m ³)
上水 内訳	飯野ビル	43,109
	汐留芝離宮ビル	20,294
	東京富士見ビル	4,655
	飯野竹早ビル	2,718
	NS 虎ノ門ビル	2,699
上水 計		73,475
再生水 内訳	飯野ビル	10,445
	汐留芝離宮ビル	14,919
再生水 計		25,364
雨水 内訳	飯野ビル	7,282
雨水 計		7,282
井戸水 内訳	飯野竹早ビル	48
井戸水 計		48
取水量 内訳	飯野ビル	60,836
	汐留芝離宮ビル	35,213
	東京富士見ビル	4,655
	飯野竹早ビル	2,766
	NS 虎ノ門ビル	2,699
取水量 合計		106,169

注: 取水量は、上水、再生水、雨水及び井戸水の合計である。

2024 年度 消費量の要約

検証対象 消費量		(m ³)
下水道 内訳	飯野ビル	50,383
	汐留芝離宮ビル	29,098
	東京富士見ビル	4,655
	飯野竹早ビル	2,466
	NS 虎ノ門ビル	2,699
下水道 計		89,301
減水量 内訳	飯野ビル	10,453
	汐留芝離宮ビル	6,115
	飯野竹早ビル	300
減水量 計		16,868
消費量 内訳	飯野ビル	60,836
	汐留芝離宮ビル	35,213
	東京富士見ビル	4,655
	飯野竹早ビル	2,766
	NS 虎ノ門ビル	2,699
消費量 合計		106,169

注:消費量は、下水道及び減水量の合計である。

* この独立検証声明書は、申請者の算定システム全般を検証対象としているが、算定システムの適切性を保証するものではない。